

自己決定プログラム (SDP) の実施に対する支援資金

この添付文書と共に送付/送信された書簡に記載されている通り、WIC (Welfare and Institutions Code/福祉・施設法) 第4685.8条(f) に基づき、SDPの実施を支援する資金が配分されます。当該資金の用途、資金使用の決定と実際に資金の使用を行うプロセス、および地域センターの報告については、以下の説明をご覧ください。

手順	詳細
優先すべき資金の用途	<p>優先すべき資金の使途として以下が挙げられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本人中心の計画と自立支援 (SD) の提供業者と個人仲介者の採用と研修- バイリンガルとバイカルチャルを重視した、本人中心の計画とSD支援提供業者と個人仲介者の数を増やすことに関連する費用。これには、採用、育成、研修、翻訳/通訳、および研修の提供に関連する費用などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。 ● 共同グループ/ワークショップ- 学習と問題解決の機会を提供する目的で、参加者、家族、提供業者を対象として開催する継続的/定期的な会議/面談。費用には、講演者/発表者の旅費、翻訳/通訳、資料、会議場の費用などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。これには、学習機会/情報共有の範囲を拡大することを目的として、他の地域のLVAC/参加者と調整を図ることが含まれる場合があります。 ● 雇用主準備研修/ワークショップ- 雇用主の準備態勢を整えることに重点を置いて、参加者、家族、提供業者を対象として開催する研修。研修/ワークショップでは、共同雇用主モデルや単独雇用主モデルの使用に関心のある参加者を対象として、雇用主としての役割と責任について理解するための教育とリソースを提供することに焦点が当てられる必要があります。費用には、研修の開発や提供、翻訳/通訳、研修の提供に関連する費用などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。 ● 共同研修- 自己決定プログラムサービスが十分に行き渡っていない多様なコミュニティの自己権利擁護者と家族に関する研修に重点を置いて、参加者、家族、地域センターのスタッフ、地域ボランティア諮問委員会 (LVAC) 委員を対象として開催する研修。共同研修は、SDPに関わる全員の総合的な理解を深めることを目的として、共有学習の機会に重点を置く必要があります。費用には、研修の開発や提供、翻訳/通訳、研修の提供に関連する費用などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

	<ul style="list-style-type: none"> ● SDPへの移行支援 / コーチング- 参加者を対象としたSDPへの移行支援。支援する内容に含まれるのは、参加者にとって最適な財務管理サービスモデルの決定、従業員の募集/雇用に関する提案、バックアップ要員配置計画の立案方法などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。 ● 初期支出計画の策定- 参加者の支出計画に基づいて個人的な予算の使用法を確立することに向けた支援。これには、財務管理サービスへの相談などが含まれます。 ● 追加で特定されたニーズ- 参加者のニーズとプログラムの実施を支援する項目/活動。
<p>資金の使途の決定</p>	<p>LVACと地域センターはSDPの実施に関する地域のニーズを共同で評価し、利用可能な資金の最適な使用方法を決定する必要があります。共同評価に基づいて、選択した使途ごとの見積もり金額を含む、優先的な資金の使途（上記）のリストを作成する必要があります。現時点では、特定した各使途に関する詳細な見積もりは必要ありません。しかし、詳細な費用について話し合うことで、見積もり額を計算しやすくなります。</p> <p>資金の使用方法について合意が得られたら、LVACと地域センターが共同で以下の事項を、sdp@dds.ca.gov に報告する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 優先的な資金の使途のリスト ● 優先的な使途それぞれに割り当てる資金の見積もり額；および、 ● どのように決定したかの簡潔な説明 <p>参加者のニーズの変化に応じて、継続的に変更を加えることができます。しかし、常に法令および本指針に準拠して資金を使用する必要があります。また、変更に関する決定は、LVACと地域センターが協力して行う必要があります。</p>
<p>資金の流れ</p>	<p>各地域センターに配分された資金額が次ページに記載されています。前述のように、資金の使用に関する決定は、LVACと地域センターが共同で行う必要があります。その後、地域センターが個人や組織にサービスの対価を払い戻します。</p>
<p>モニタリング</p>	<p>地域センターは、会計年度内に各現行プロジェクトの状況報告書を作成する必要があります。報告書の提出期限は毎年3月31日と9月30日です。報告書の提出期限が近づくと、報告書提出リンクが記載されたリマインダーが当局から送信されます。</p>

基本資金は地域センター間で均等に配分されています。残りの資金は、各地域センターで白人以外の人種であることを自認する現在加入者（ステータス2）の割合に基づいて配分されています。

SDP参加者支援資金 - 2024/2025会計年度*について

地域センター	基本資金	白人以外の人種であることを自認する現在加入者の資金のシェア **.	利用可能な資金額
ACRC	\$47,620	\$61,503.57	\$109,123.57
CVRC	\$47,620	\$69,656.81	\$117,276.81
ELARG <u>RCEB</u>	\$47,620	\$65,342.68	\$112,962.68
FDLRG <u>ELARC</u>	\$47,620	\$44,048.49	\$91,668.49
FNRC	\$47,620	\$9,387.51	\$57,007.51
GGRG <u>FDLRC</u>	\$47,620	\$29,435.74	\$77,055.74
HRG <u>GGRC</u>	\$47,620	\$24,268.91	\$71,888.91
IRG <u>HRC</u>	\$47,620	\$50,142.00	\$97,762.00
KRG <u>IRC</u>	\$47,620	\$121,800.13	\$169,420.13
NBRG <u>KRC</u>	\$47,620	\$32,850.45	\$80,470.45
NLAGRG <u>NBRC</u>	\$47,620	\$20,386.98	\$68,006.98
RCEB <u>NLACRC</u>	\$47,620	\$83,712.77	\$131,332.77
RCOC	\$47,620	\$57,960.38	\$105,580.38
RCRC	\$47,620	\$5,194.09	\$52,814.09
SARC	\$47,620	\$46,879.15	\$94,499.15
SGLARG <u>SDRC</u>	\$47,620	\$98,185.34	\$145,805.34
SDRG <u>SGPRC</u>	\$47,620	\$44,757.13	\$92,377.13
SGPRG <u>SCLARC</u>	\$47,620	\$67,694.43	\$115,314.43
TCRC	\$47,620	\$34,267.72	\$81,887.72
VMRC	\$47,620	\$44,433.96	\$92,053.96
WRC	\$47,620	\$28,080.77	\$75,700.77
合計	\$1,000,020	\$1,039,989.00	\$2,040,009.00

*資金は2027年3月までに使い切らなければならない。

**この情報の出典は、2024年5月に同局が資金提供するサービスを申請した個人、および現在サービスを受けている個人のケースステータス情報の主な出典であるクライアント・マスター・ファイルです。